

コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～

その49 成果をだすリーダーの一挙手一投足から学ぶ



猪俣 恭子

中央大学文学部卒

卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで行内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年 Coaching Press 株式会社を設立、代表取締役として現在に至る。

国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ

財生涯学習開発財団認定マスターコーチ

コーチエイCTPクラスコーチ

米国CCE,Inc.認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

「部下や後輩の仕事のモチベーションを高めるためにあなたがしていることは何ですか？ またやろう、やろうと思ってやっていないことは何ですか？」

これはコーチング研修で参加者の方に必ず聞いている質問です。まったく何もしていないということはないわけで、既にしていることに意識をフォーカスするところからスタートするわけです。さて、あなたはどのようにですか？ あらためて振り返ると「あれ？」と、思ったよりもでてこないかもしれませんね。

さて、「学ぶ」という言葉の語源は「真似る」といわれているように、あるスキルのレベルアップを効率よくはかるには、その分野で既に上手くいっている人の行動をつぶさに観察して自分に取り入れる、つまり真似ることが最も効果的です。リーダーシップとて同様のことがいえます。では、「部下や後輩の仕事のモチベーションを効果的に高めている人は日頃どのような行動をとっている」のでしょうか？ 以下の24個の項目は赴任すると必ず営業店で実績をあげる支店長が具体的に何をしているのか、それを観察して誰もが真似できるように一覧表にしたものです。普段私がコーチング研修を実施する際、必ず参加者にチェックしてもらっています。さて、日頃のあなたはどのように部下や後輩と関わっているのでしょうか？

- 私は相手の話しを途中でさえぎったり、否定することなく最後まで聞いている。
- 私は相手の真意を深く理解するよう、理解をとりながら聞いている。
- 私は相手が話す時、結論を急がせたり、先取りしたりすることなく聞いている。
- 私は相手が相談に来たときは、手を休め自分の仕事より相手の話を優先している。
- 私は相手の話しにうなづいたり、相づちをうって安心して話せるようにしている。
- 私は自分の考えを伝える前に、相手の考えを尋ねている。
- 私は相手に気づかせたり、考えさせたりするための質問を相手のためにしている。
- 私が質問することで、相手はアイデアや新たな選択肢を得ている。

- 私が質問する時には、相手が萎縮したり警戒しないように声に気をつけている。
- 私は相手の態度や気持ちの変化にすぐ気づき、いつも声をかけている。
- 私は怒ると叱るの違いを理解し、相手が納得する叱り方をしている。
- 私はいつも笑顔で、相手に自分から挨拶したり頻繁によく声をかけている。
- 私は相手のよいところを見つけて、そこを伸ばすよう声をかけている。
- 私は努力や小さな成果にも労をねぎらったり、ほめたりしている。
- 私は相手と仕事と夢について話す時間を定期的にとっている。
- 私は相手が目標達成できるよう、進捗やサポートについて声をかけている。
- 私は人の成長や成功を心から願って関わっている。
- 私は人が失敗したときに、学習を促すような関わり方をしている。
- 私は相手とそれぞれの役割と責任について、共通理解がもてるよう面談している。
- 私は相手に自分の夢や仕事上のビジョンを頻繁に語っている。
- 私は相手に対して、自分がどんな影響を与えているか知って振る舞っている。
- 私は仕事に対して信念をもって取り組んでいる。
- 私は人を大切な存在として関わっている。
- 私は一人ひとりの価値観を尊重して、個別に対応を変えて関わっている。

どのような発見や気づきがありましたか？ 心に残っている項目はどれでしょうか？ それはどうしてでしょうか？ まずはあなた自身の現状の振り返りからです。何をしていたまだ何をしていないのか、そこからあなたがよりあなたらしいリーダーとなるための課題がきっと見つかります。是非、あなたの職場でこの一覧表を活用してみてください。きっとプラスの変化がでることと思います。



コーチングプレス株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162

<http://www.coaching-press.com/> (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)